

街なか居住推進シンポジウム



まちを元気に
する土地
活用
たとえば定期
借地方式

本市の中心市街地では、老朽化等に伴い住宅が解体撤去され、駐車場となる状況が進行しています。また、中心市街地の人口減少と高齢化も進行しています。人口は消費の大きな源であり、中心市街地の商業活動の盛衰に大きな影響を及ぼしています。中心市街地を再生させるためには、街の魅力を高め人の流れを生むことと同時に、そこに住む人を増やすことが重要であり、急務です。なかでも、駐車場等の低未利用地に、住宅等が供給されるサイクルを構築することが喫緊の課題となっています。

鳥取市では、新たな住宅供給方式を提案し、H23年より「鳥取西町コーポラティブハウスモデル事業」を進めてきました。H24年11月に完成をむかえ、現在5世帯のご家族が街なか居住を楽しんでおられます。シンポジウムでは、モデル事業の報告に加え、まちを元気にする土地活用について、皆さんと一緒に考えていきます。多数の皆さまのお越しをお待ちしております。

13:30

開会あいさつ

13:35

基調講演

[演題]街なか居住のすすめ



●講師 **天宅 毅**(あまやけ たけし)さん

株式会社キューブ 代表取締役
一級建築士 一級建築施工管理技士 宅地建物取引主任者
大手ディベロッパーで、企画・設計監理などに従事。1996年 株式会社キューブ設立。
宇多野コーポラティブハウスで長期優良住宅先導的モデル事業に採択、2011年度グッドデザイン賞受賞。
日本建築家協会会員。スケルトン定借普及センター関西支部長
「鳥取の中心市街地活性化が、日本の未来を明るくする鍵を握っていると思います。」

14:05

成熟社会における街なか居住の実現手法



●講師 **藤本 秀一**(ふじもと ひでかず)さん

独立行政法人建築研究所住宅・都市研究グループ 主任研究員
日本不動産学会業績賞(1996)、都市住宅学会賞(1998、2003)を受賞。
専門は建築計画及び住宅問題。スケルトン・インフィル方式や定期借地権を用いた住宅計画・供給手法、成熟社会における住まいづくり・まちづくり等の研究に取り組む。
「歩いて暮らせる街なか居住は成熟社会の理想モデルです。」

14:20

鳥取西町コーポラティブハウスモデル事業の報告(定期借地方式を活用した新たな住宅供給方式)

- 報告者 **楠本 博**(くすもと ひろし) 鳥取市都市整備部中心市街地整備課長
- 報告者 **聲高 昌可**(こえたか まさよし)さん 事業者「まちムラの会」代表

14:50

休憩

15:00

パネルディスカッション

[テーマ]とっとりを元気にする土地活用とは？！

●コーディネーター **藤本 秀一**さん

●パネリスト

聲高 昌可(こえたか まさよし)さん

田中工業株式会社代表取締役社長
「地主は土地の有効利用を考え、ユーザーは土地所有から利用活用を考える時代です。私達は、街なか居住を可能にする提案を致します。街なかのにぎわいを取り戻す様々な取組を、我々地元企業として応援します。」



●パネリスト **天宅 毅**さん

●パネリスト

大島 英司(おおしま えいじ)

鳥取市都市整備部長
平成10年建設省(現国土交通省)入省。都市・地域整備局都市計画課長補佐等を経て、平成23年4月より鳥取市都市整備部長に就任。

16:00

閉会

■交通案内■

- ・徒歩 JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約20分
- ・バス 1.路線バスは、「県庁日赤前」で下車(鳥取駅より約5分)
2.100円循環バス「くる梨」は、赤・青コースともに「とりぎん文化会館」で下車(鳥取駅から約15分、20分おきに運行)

【とりぎん文化会館 TEL(0857)21-8700】

※駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。
これを機会に街なかを歩いてみませんか。

